



COMMON BEAT.



表現する楽しさを
みんなのものに

特定非営利活動法人コモンビート

ANNUAL REPORT

2025

2025年度
活動報告書



VISION

個性が響きあう社会へ

MISSION

表現する楽しみを みんなのものに

人はだれもが、日々の暮らしの中で「表現」しています。

言葉やしぐさ、服装、大切にしている価値観——そのすべてが、その人らしさのあらわれです。

私たちは表現を通して思いを伝え、誰かと出会い、関係を育みながら生きています。

社会や文化もまた、一人ひとりの小さな表現の積み重ねによって形づくられてきました。

テクノロジーの進化によって発信しやすくなったその一方で、他者との比較や「正しさ」への同調圧力によって、自分らしく表現することが難しく感じられる場面も少なくありません。

情報やAIの進化は便利さをもたらす一方で、「うまくやらなければ」「間違えてはいけない」という不安や怖さも生み出しています。その結果、表現する前にあきらめてしまう人や、本音を閉じ込めてしまう人もいます。

私たちは、この状況を変えていきます。うまさや正解だけを競うのではなく、違いを認め合い、安心して自分の思いを出せる場を広げていきます。

自分の気持ちを形にし、受け止め合い、互いの違いを楽しみに変えていく文化をつくっていくこと。

そのプロセスそのものが「楽しい」と感じられる社会を目指して歩みを進めていきます。

表現が「楽しみ」に変わるとき、人は本来の力を取り戻し、個性は孤立せずに響き合います。

そうした関わりが広がれば、社会はよりあたたかく、創造的になるはずです。

その未来を信じ、私たちは活動を続けます。

代表理事/COO(Chief Operating Officer)

安達 亮

2025年度は、コモンビートにとって挑戦と転換が重なり、その分、未来へのワクワクが大きく広がった一年でした。共同代表制やCxO体制への移行、新たに掲げた「表現する楽しみをみんなのものに」というパーパスを軸に、事業と組織の再編に取り組み、次の10年に向かう確かな土台を築き始めています。昨年は簡単ではない選択や試行錯誤の連続でしたが、そのひとつひとつが、表現文化を社会に根づかせ、表現教育を次世代へとつないでいく力になっていくと感じています。

コモンビートの活動が、子どもたちや市民ひとりひとりにとって、表現が当たり前にある社会のインフラとなることを目指し、これからも歩みを進めていきます。いつも活動に参加して下さっているみなさんに心から感謝します。これからもぜひ、一緒に未来をつくっていきましょう。



代表理事/CEEO(Chief Expression Education Officer)

河村 勇希

「起点」という言葉がふさわしい一年でした。これまでの21年間では踏み込めなかった領域に挑戦し、体制の変更や新規事業への挑戦など、コモンビートの歴史において確かな転換点を打ち立てた一年となりました。

一方で、個人としては最も厳しい一年でもありました。変えてはいけない価値は何か、私たちだからこそ届けられるものは何か。新事業を立ち上げるスピードも求められ、自分の力不足に向き合いながらもがき続けたからこそ、今後の大きな可能性が立ち上がってきました。

来年度はそれを形にする年。遠い未来からのバックキャストも大切にしながら、何よりも目の前の一人ひとりに本当に良いものを届けていきます。これからも、ともに挑戦していけたら嬉しいです。



Our Activities and Impact in 2025 2025年度 活動実績

今年度からの取り組みとして、各地のミュージカル公演と同時に「COMMON BEAT FES」を開催！
パフォーマンスステージ、ワークショップ、マルシェ、フォーラムなど様々な企画を通じて、
地域の方と「あらゆる市民が表現の舞台に立つ機会」を創り上げました。
その他では学校訪問を行い、全国でミュージカル以外でも
「表現する楽しみ」を届ける活動を重ねました。



**パンゲア・コモビジョン
・ギャザリング**
深く関わりのある内外部の方々
を招待し、日頃の感謝を伝え、コ
モンビートの未来やコモビジョン
について共に語り合いました。
@東京



新潟2期公演 N:birthと共催
@新潟テルサ



**ミュージカル
アワード2024**
ミュージカルプログラムを駆け抜
けた全国の仲間たちと、1年間を振
り返り、お互いを讃え、労い合う年
に一度の祭典がついに復活！
@東京



63期関西公演
@箕面市立文化芸術劇場

**名古屋市立
吉根中学校 訪問**



レポート

**多摩市立
青稜中学校 訪問**

7/21(祝)

7/16(水)

7/5(土)6(日)

7/2(水)

3/9(日)

1/25(土)26(日)



64期東京公演



65期名古屋公演



66期九州公演



**COMMON BEAT FES
2025 in TOKYO**
@北とびあ



**COMMON BEAT FES
2025 in NAGOYA**
@岡谷鋼機名古屋公会堂



**COMMON BEAT FES
2025 in FUKUOKA**
@福岡市民ホール・須崎公園



レポート

**浦安市立
日の出小学校 訪問**

11/5(水)

12/27(土)28(日)

9/13(土)14(日)

8/15(金)16(土)

2025年9月～2026年1月 名古屋市立汐路中学校 連続授業

コモビートに関わる多様な大人の人生や価値観に触れ、生徒自身の「自分らしいライフ
キャリア」を考える授業を実施しました。



7月・12月 福岡女子商業高等学校

同校のキャリア教育プログラム「ユメカタリバ」で、人生劇場を
実施！2年生と1年生を対象に、少人数の対話を行いました。



数字で見るコモビート2025

表現に触れた人

ミュージカル

63期関西、64期東京、65期名古屋、
66期九州、新潟2期(共催)

キャスト **513名**

観客 約**17,700名**

青少年招待 約**2,650名**

※同伴の保護者含む
※65期名古屋公演より子ども無料/保護者割引有料(半額程度)に変更しました。

字幕&音声ガイド利用 **53名** ※主催プログラムのみ
字幕 27名 音声ガイド 26名

フェス

東京、名古屋、福岡

参加団体 **41団体**

参加者 約**1,870名**

学校訪問

授業提供生徒 **1,205名**

訪問学校数 **5校**

小学校 1校 中学校 3校 高校 1校

表現の舞台や機会を
支えてくれた人・団体

ウェルカムキャスト(公演運営スタッフ)

約**530名** ※主催プログラムのみ

フェススタッフ数

約**100名**

表現教育基金

チケットサンタ(青少年招待サポーター) **271名**

ハチドリ電力寄付プログラム **34名**

Musical For All (協力団体)

- ボーダレスハウス株式会社
- actcoin
- NPO法人日本ブラインドサッカー協会
- 公益財団法人日本ケアフィット共育機構
- 一般社団法人手話エンターテイメント
発信団oioi Palabra株式会社
- 特定非営利活動法人シアター・
アクセシビリティ・ネットワーク
- 共感起業大全
- 一般社団法人ビーラインプロジェクト

1. 共同代表制・CxO制の導入と、アドバイザー就任

次世代への円滑な継承と、事業規模や活動エリアの拡大に向けて、体制を新たにしました。また、活動の可能性をさらに追求していくために、専門領域からのアドバイザーにご就任いただきました。



代表理事/
COO
(Chief Operating Officer)
安達 亮



代表理事/
CEEO
(Chief Expression Education Officer)
河村 勇希



理事/
CIO
(Chief Impact Officer)
中島 幸志



ウェルビーイング・
アドバイザー
武蔵野大学教授・
慶應義塾大学名誉教授
前野 隆司
※2021年から継続



NEW
グローバル・シチズンシップ・
アドバイザー
一般社団法人グローバル教育
推進プロジェクト(GIFT)代表理事
辰野 まどか



NEW
パフォーミングアーツ・
アドバイザー
マルバークレッジ東京
音楽・表現芸術科 学科長
箱田 賢亮

2. 新パースの設定

20年以上にわたり積み重ねてきた活動と現在の社会情勢に向き合い、「表現する楽しみをみんなのものに」というパースを掲げました。

ミュージカルにとどまらず、多様なかたちの「表現する楽しみ」を社会に届けていきます。

3. チケット販売システムの開発

ミュージカル公演のチケット販売システム「コモチケオンライン」を新たに開発し、よりスムーズでわかりやすいチケット購入が可能になりました。

開発募金にご協力くださったみなさまに、心より感謝申し上げます。

4. ミュージカル公演会場の前払費用確保に向けた取り組み

公演会場の前払金増加による資金拘束とキャッシュフロー圧迫に対応するため、返済負担の少ない長期借入を一般財団法人たにまちファンドより実現しました。

これにより、理念に沿った持続可能な資金循環の仕組みを構築しました。

5. 「表現教育基金」のための新しい仕組み

電気代の1%が自動的に寄付となるハチドリ電力の寄付プログラムに参画しました。また、コモビート経由での「家(住まい)探し」が寄付につながる新たな企画もスタート。

暮らしの中での選択を通じて、子どもたちに表現教育の機会を届けられる仕組みが動き始めています。

令和7年度の経常収益は97,631,984円となり、前年比で約246万円(2.6%)の増加となりました。一方、経常費用は97,492,370円を計上し、前年比で約815万円増加しています。この費用増の主な要因は、CXO体制の構築やコモズ事業部・表現教育事業部の新設といった成長に向けた組織基盤の整備です。加えて、公演に併催した「コモビートフェス」の実施等、事業拡大に伴う交通費や通信費が増加したほか、チケット発行システムの開発に伴う減価償却費を計上しました。これらは将来の事業成長に向けた重要な投資と位置づけています。

財務面においては、当期末の正味財産が前年度末比で約1,300万円増加しました。これは機動的な事業運営を目的とした、短期借入金の実施によるものです。背景として、1~2年先の公演会場予約に伴う前払いなどの支出が重なり、キャッシュフローを圧迫する傾向にありましたが、今回の資金調達により手元流動性を確保いたしました。これにより、中長期的な視点での安定した事業基盤への改善を図っております。

▼ 活動計算書 令和7年1月1日~12月31日

(単位:円)

科目		金額	
一般正味財産増減の部	I 経常収益		
	1.受取会計	正会員受取会費・賛助会員受取会費	796,525
	2.受取寄付金	受取寄付金	2,379,776
	3.事業収益	【1】普及・啓発、情報発信に関する事業	59,371,601
		【2】育成・学習に関する事業	25,210,907
		【3】調査・研究に関する事業	11,500
		【4】コミュニティ運営に関する事業	1,102,500
		【5】助成・支援に関する事業	0
		【6】その他目的を達成するために必要な事業	8,665,331
	4.その他収益		93,844
経常収益計		受取利息・雑収入	97,631,984
II 経常費用			
1.事業費	【1】人件費	9,900,000	
	【2】その他経費	72,009,007	
2.管理費	【1】人件費	8,534,175	
	【2】その他経費	7,049,188	
経常費用計			97,492,370
経常外収益			0
当期計上増減額			139,614
税引前当期正味財産増減額			139,614
法人税、住民税及び事業税			73,550
当期繰越正味財産額			66,064
前期繰越正味財産額			10,848,236
次期繰越正味財産額			10,914,300

▼ 貸借対照表 令和7年12月31日現在

(単位:円)

科目		金額		
I 資産の部	1.流動資産			
	現金預金	33,426,991		
	商品	141,300		
	前払費用	7,264,251		
	未収金	2,531,055		
	仮払金	67,150		
	流動資産合計			43,430,747
	2.固定資産			
	(2)無形固定資産			
	ソフトウェア	2,174,105		
無形有形資産計	2,174,105			
(3)投資その他の資産				
敷金	81,000			
投資その他の資産計	81,000			
固定資産合計			2,255,105	
資産合計			45,685,852	
II 負債の部	1.流動負債			
	短期借入金	15,000,000		
	未払費用	11,745		
	前受金	10,323,573		
	未払金	8,593,372		
	未払い法人税等	70,000		
	未払い消費税等	593,200		
	預り金	179,662		
	流動負債合計			34,771,552
	2.固定資産			
固定負債合計			0	
負債合計			34,771,552	
III 正味財産の部	前期繰越正味財産	10,848,236		
	当期正味財産増減額	66,064		
	正味財産合計		10,914,300	
負債及び正味財産合計			45,685,852	



ANNUAL REPORT 2025



COMMON BEAT

特定非営利活動法人コモンビート

<https://commonbeat.org/> info@commonbeat.org



表現する楽しみを みんなのものに ——

子どもたちに表現教育授業やステージ鑑賞体験を届けよう！
表現教育基金へのご支援をお待ちしています！

詳細はこちら